

セミナー開催
平成 28 年
5/16 月

公共交通不便地域で『くらしの足』を地域自ら確保する方法



名古屋大学東山キャンパス ES
総合館 1 階 ES ホール

(地下鉄名城線名古屋大学駅徒歩 3 分)

※自家用車での来場はできません。

セミナー内容

午前の部 (10:00 ~ 12:30)

新しく公共交通担当になった自治体職員の方、地域公共交通会議委員の方、その他、初心者の方向けです

● **中部地域における地域公共交通の状況説明**
▶ 国土交通省中部運輸局

● **【特別講義】地域公共交通政策の考え方・進め方入門**
▶ 加藤 博和：名古屋大学大学院環境学研究科准教授

● **【情報提供】臨床環境学およびコンサルティングファームの紹介**
▶ 名古屋大学持続的共発展教育研究センター

午後の部 (14:00 ~ 17:00)

どうすれば公共交通が便利にできるか知りたい、具体的に動き出したいと思っている皆様向けです

● **【講演】「くらしの足」をあきらめないで!自分たちで「つくり」「守り」「育てる」方法があります!**
▶ 加藤 博和：名古屋大学大学院環境学研究科准教授

● **【事例紹介】市町村有償運送、公共交通空白地有償運送、オンデマンド交通等に関する取組紹介**
・名張市美旗地区、蒲都市形原地区、岐阜県西濃地域
(名阪近鉄バス)、徳島県つるぎ町、神戸市淡河ゾーンバス

【作戦会議】

・他地域で活動している方や講演者も加わり「地域から公共交通を変えるための方法論」をアツク語り合う
▶ コーディネーター
福本雅之：(公財)豊田都市交通研究所主任研究員

※終了後、懇親会を予定 (実費)

高齢化の急速な進展などに伴い、

自家用車に頼らない「くらしの足」確保が

重要となっている中、コミュニティバスやオンデマンド交通

等の導入に加え、近年ではいわゆる「自家用車ライドシェア」

や自動運転技術の実証実験といった動きが出てきていますが、

課題が山積しています。一方、現状の法制度や技術の枠内で、

地域が持つ力をうまく生かした地道でかつ安全安心な「くらしの足」を

確保するための取組はまだ局所的なものにとどまっています。

そこで、特に「公共交通空白地有償運送制度の活用」と「既存バス・

タクシー事業の活性化・再生」に重点を置き、地域の関係者が

意識を共有し、自らのくらしの足を自ら確保するための具体策

について、現場での実践に生かすきっかけをつかむことを目的とし

て開催します。



日 時：平成 28 年 5 月 16 日 (月) 10:00~17:00

場 所：名古屋大学東山キャンパス ES 総合館 1 階

ES ホール (〒464-8603 名古屋市千種区不老町)

参加費：無料 (どなたでも参加自由) 定 員：200 名

主 催：名古屋大学大学院 環境学研究科附属持続的共発展
教育研究センター

共 催：国土交通省中部運輸局

後 援：くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会/
(公財)交通エコロジー・モビリティ財団 / (一財)地域
公共交通総合研究所 / (公財)豊田都市交通研究所/
(公社)日本バス協会 / (一社)全国ハイヤー・タクシー
連合会 / (特非)全国移動サービスネットワーク /
日本私鉄労働組合総連合会 / 全国交通運輸労働組合連
合会 / (公社)愛知県バス協会 / 愛知県タクシー協会 /
名古屋タクシー協会 / (特非)移動ネットあいち

●申し込み URL ▶▶▶ <http://orient.genv.nagoya-u.ac.jp/kato/seminar.htm>

※e-mail をお使いの方は必ずそちらで、氏名・所属・住所・連絡先 TEL を記載し申し込み願います。

●e-mail をお持ちでない方は FAX での申し込みが可能です。

※FAX 番号 ▶▶▶ 052-789-1454 (名古屋大学環境学研究科地域戦略研究室)

【氏 名】

【連絡先】TEL :

【所 属】(団体・会社・個人)

【住 所】〒

【参加希望に○】 午前の部 ・ 午後の部 ・ 懇親会